

東日本大震災 対策本部情報	67号	2011/04/16 11:15 現在
------------------	-----	------------------------

各地本委員長殿

支援物資が届かず、 孤立していた地区の自治会長から 高崎地本にお礼状が届く

4月8・9日、高崎地本と長野地本は一関支部の案内で気仙沼地区へ向かう途中、被災地であるにもかかわらず、比較的被害が少なかったため、支援物資が届かず孤立していた地区へ支援物資を届けました。そのことへの御礼の手紙が高崎地本に届きました。

以下、いただいた手紙（要旨）を紹介します。

「当地区はかつてのチリ地震の教訓で家屋が比較的高いところに建ててあったため、他の被災地に比較すると被害は少なかったと考えます。そのため、被災地にもかかわらず支援物資が届かず、住民間でお互いに協力しあい、少ない食糧を分かち合って忍耐強く復興を待ち望んでいました。しかし、その工夫した生活も限界かという時期に、縁あって貴組合から心温まる支援物資をいただきました。

早速、10日放送で呼びかけたところ、全世帯（80戸）の人が集まり配布することが出来ました。みな「ありがとう」の言葉で心から感謝しております。

群馬県からの支援物資である重みを住民みんなで分かち合いたいと考えています。

本当に心温まる支援物資に重ねて、重ねて深く感謝申し上げます。

住民300人の小さな集落ですが、お互いに協力しあい、この善意を噛みしめながら困難に立ち向かってまいりたいと考えております。 自治会長（お名前）」

一日も早い復興のため、出来ることを、みんなの力を合わせてやりきろう！